京大木津農場で最先端の農業技術に触れる！

データでつながるサステナブル農業体験会

オートコンバイン

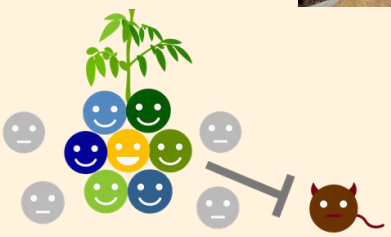
遠隔操縦

データ駆動型

電動農機

脱炭素関連技術

自然給水栽培



微生物防除

機械稼働システム

日時 2026年10月15日（木）
14:00-16:30

場所 京都大学大学院農学研究科
附属木津農場
（京都府木津川市城山台4丁目2-1）

定員 70名（無料バスは先着40名）

※吉田キャンパス～木津農場を往復する無料バスを運行します。
詳細は申し込みフォームをご覧ください。

対象 京都大学学生もしくは教職員

内容 トラクター遠隔操縦、電動農機操舵
オートコンバイン操縦、
機械稼働システム、自然給水栽培
微生物防除、バイオ炭（脱炭素）等

参加申込・バスの予約はこちらから

https://business.form-mailer.jp/fms/c5222838366507

本イベント「データでつながるサステナブル農業」では、産学共同講座「ヤンマーデータ駆動型サステナブル農業講座」による木津農場でのレクチャーと最新農機の操作・操縦体験を実施します。

土や泥、起伏に富んだ農地を走る農機は、まさに「究極のオフロード車両」と言えます。京都大学木津農場のフィールドを走るヤンマーのトラクターやコンバインには、そのような過酷な環境を走破するハードウェア技術と、最先端のデジタル技術が詰まっています。無人トラクターを正確に動かす遠隔操縦技術、オートコンバインによる自動収穫技術、複数のデータを連携させる機械稼働管理システム。フィールドで農機に直接触れながら、内部でどのようなデータが収集され、高度な機械制御が行われているのか、ぜひ想像を膨らませてみてください。

一方で、テクノロジーがどれほど進化しても、農業の基盤となるのは豊かな地球環境です。自然を資源として活用し、人の生命を支える「食」に関わる産業だからこそ、環境負荷の低減が不可欠です。バイオ炭の活用や、微生物・菌による病気予防といった活動を通じて、人と自然が共生するサステナブルな農業と社会の実現を目指しています。

データ活用や機械制御に興味のある情報・工学分野の方はもちろん、農学を起点に領域横断的な研究に関心のある方、食と農業の未来を考えたい方など、分野を問わず学生・研究者のみなさまのご参加をお待ちしています。ぜひお気軽にお越しください。

主催：ヤンマーホールディングス株式会社、ヤンマーアグリ株式会社　　共催：京都大学農学研究科、京大オリジナル株式会社